

環境報告書 2015



Creation & Harmony
SK-Electronics CO., LTD.

「自然との調和」 *Harmony*



コンテンツ

ごあいさつ	02	社内環境活動	05
環境への取り組み	02	社会貢献活動	06
環境活動の歩み	03	環境保全活動	08
環境管理組織	03	今後の取り組み	08
環境マネジメントへの具体的取り組み	04	会社概要	08

編集方針

この「環境報告書」は、当社が地域社会の一員として環境保護の責任を担い、これまで取り組んでまいりました環境保全活動ならびに社会貢献活動の内容や成果をご紹介しますことで、当社の「環境」に対する考え方を皆様にご理解いただくことを目的に作成いたしました。

ごあいさつ

エスケーエレクトロニクスは「創造と調和」を経営理念としています。「創造」とは常に積極的に新しい価値創造に励み、社会の求めるより良い製品をご提供するという意味です。

「調和」とは、社会との調和、**自然との調和**、そして人との調和を大切にした企業活動により社会的責任を果たすという意味が込められています。

この経営理念に基づき、当社の環境理念である「常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。」を策定いたしました。

地球の限りある資源のもとに事業活動を行う当社は、環境負荷低減や環境保全のために、その事業の成果をもって貢献する責務があり、また環境問題への取り組みは企業価値向上につながる重要な企業活動の一つであると考えています。

今後は、社会の求めるより良い製品をご提供するとともに、地球環境保全や環境負荷低減に貢献し、環境理念である「自然との調和」の実現を目指してまいります。



代表取締役社長

おつす 将司

環境への取り組み

当社では、環境経営を実践していくうえで重要なシステムとなる環境マネジメントシステム(ISO14001)を、2002年に京都工場で認証取得し、2011年には滋賀工場で拡張認証を行いました。

また、環境理念に基づく6つの環境方針を策定し、掲げた環境目標を達成するために環境管理体制を整備して、社員一人ひとりの環境意識向上に取り組んでまいりました。

地域社会とのコミュニケーションも重要な取り組み課題の一つと考え、事業所周辺の身近な地域社会における環境保全活動ならびに社会貢献活動を地域の方々とともに進めております。

今後は、後ほどご紹介申しあげます社会貢献活動や環境保全活動の継続ならびに充実を図り、当社が果たすべき社会的責務に積極的に取り組んでまいります。

経営理念

「創造と調和」

環境理念

常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。

環境方針

1. 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーに努めます。
2. 汚染を防止し、循環型社会の形成に貢献します。(3Rの実践)
3. グリーン調達に取り組み、環境に優しい製品作りに努めます。
4. 環境関連の法律、規制および協定等を遵守いたします。
5. 環境教育を実施します。
6. 社会貢献活動を実施します。

※3R・・・Reduce(廃棄物の排出抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)



環境活動の歩み

2001年	10月	株式会社写真化学より分社し、株式会社エスケーエレクトロニクス設立
2002年	9月	京都工場でISO14001認証取得
2005年	5月	本社、京都工場での周辺地域清掃活動スタート
2006年	8月	本社前の戻橋児童公園へベンチ5脚寄贈 京都市より感謝状授与(2006年9月)
2007年	11月	社会福祉法人への支援活動を開始(京都工場)
2008年	6月	京都工場の所在地である久御山町内の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
	8月	京都市、NPO法人、企業のハイブリッド組織で「水源の森づくり」活動に参画
	10月	「水源の森づくり」京北町の合併記念の森にて北山杉の第1回間伐作業に参加
2009年	3月	「水源の森づくり」第2回間伐作業に参加
	5月～10月	京都工場の近隣2カ所の幼稚園に「緑のカーテン」を新たに設置
	7月	京都工場地域環境活動として、「木津川下津屋橋(通称:流れ橋)付近地域清掃」を実施
	11月	本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施
		発展途上国の子どもたちにワクチンを贈るため、ペットボトルキャップの収集を開始
		滋賀工場の敷地の一角に農園を設け、野菜の栽培を開始
2010年	2月	関西盲導犬協会への支援活動を開始
	3月	「水源の森づくり」植樹作業に参加
	5月～10月	京都工場の近隣3ヶ所の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
	10月	滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加
	11月	「水源の森づくり」京都市右京区鳴滝音戸山にて竹林清掃活動に参加
2011年	5月～10月	京都工場近隣の3ヶ所の幼稚園へ「緑のカーテン」を設置
	9月	滋賀工場でISO14001拡張認証取得
2012年	3月	「合併記念の森 記念式典」と「森づくりパートナーによる植樹」に参加
	5月～9月	京都工場近隣の3ヶ所の幼稚園へ「緑のカーテン」を設置
2013年	11月	滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加
2014年	5月～9月	本社近隣の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
	11月	第6回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施
2015年	5月	第7回京都工場地域環境活動として、「近鉄大久保駅周辺地域清掃」を実施
	5月～8月	本社近隣の幼稚園に「緑のカーテン」を設置

環境管理組織

- 当社では、社長を最高責任者として環境保全活動に取り組んでいます。
- 社長の命をうけた環境管理担当役員のもと、環境委員会を設置しています。
- 環境委員会で企画、検討を行った取り組みについて、スムーズに実施するために環境委員会は各職場代表で構成しています。
- 社員は環境委員会のもと、環境保全活動に取り組めます。

環境管理組織図



環境マネジメントへの具体的取り組み

環境目標

環境3ヵ年計画の実績

第1期 (2002年9月期～2004年9月期)

第1期は、CO₂削減と廃棄物削減に取り組みました。CO₂削減(売上原単位※)は、2001年9月期の実績値から20%削減の目標としましたが、2004年9月期には、23%の削減を達成しました。

廃棄物削減については、2001年9月期から40%削減の目標としましたが、3年間で51%の削減をすることができました。
※売上原単位…エネルギーの使用量／売上高

第2期 (2005年9月期～2007年9月期)

第2期の計画は、引き続きCO₂および廃棄物削減に取り組むと共に、水、電力、燃料、排ガス消費の削減を目指しました。CO₂削減の結果は、2004年9月期の実績に対して15%削減の計画でしたが、新工場建設による設備増加のため、残念ながら2007年9月期には7%増になりました。

しかし廃棄物削減は、2004年9月期から30%削減の目標に対して2007年9月期には90%削減を達成し、大幅な削減となりました。

第3期 (2008年9月期～2010年9月期)

第3期は4つの目標を立てました。まず、グリーン購入率は目標の95%を目前にして達成することができませんでしたが、今後は維持管理を行い購入率の推移に変動がないよう取り組んでいきます。事務用品購入量は、15%削減の目標に対して大きく上回る数字で目標を達成しました。コピー用紙購入量の削減は目標を達成できなかったため、次の3ヵ年計画では再度目標に掲げて削減を推進することといたしました。故紙・ダンボール排出量は、目標に対してわずかにオーバーしましたが、今後は維持管理を行い排出量が増加しないよう取り組むことといたしました。

第4期 (2011年9月期～2013年9月期)

第4期は具体的施策による残業時間の削減、電子決裁導入などによるコピー用紙の削減、エネルギー使用量削減(原油換算)の3つの目標を掲げました。残業時間の削減については、毎年3%、3年間で9%の削減を目指し、最終的に11%の削減を達成しました。コピー用紙の削減・エネルギー使用量削減については、毎年2%、3年で6%の目標に対し、コピー用紙は電子決裁システムの導入やミスコピーの撲滅活動等により3年間通算で19%の削減、エネルギー使用量はエレベーター等省電力設備の導入や節電意識の高揚により14%の削減を達成することができました。

第5期 (2014年9月期～2016年9月期)

第5期は、「改正省エネ法」に対する全社的な取り組みを重点課題として、エネルギー使用量削減(原油換算)を目標に設定しました。第4期で目標に挙げていた具体的施策による残業時間の削減、電子決裁導入などによるコピー用紙の削減については廃棄物排出と同様に維持管理項目としました。実績の詳細については、5ページに記載のとおりです。

京都工場

●エネルギー使用量削減

京都工場では、「改正省エネ法」の計画目標にリンクさせ、3ヵ年計画でエネルギー使用量の毎年1%削減(3年間でトータル3%の削減)を目標に掲げました。

目標に対する施策として、社員の節電意識の高揚を引き続き図るとともに、工場冷却水ポンプのインバーター化や蒸気配管の保温強化、一部事務所内照明のLED化等を実行し、その結果、2015年9月期の実績については、3ヵ年計画2年目の目標2%削減に対して2.1%削減となり、目標を達成することができました。

滋賀工場

●エネルギー使用量削減

滋賀工場では2013年から3ヵ年計画で、エネルギー使用基準年度比毎年1%削減の目標を掲げ、初年度は達成し今年は2年目となりました。今年度の主な活動としては、昨年導入した熱源設備の効率的な運転を軸に、前年からの活動を引き続き行うことにより、目標達成を目指しました。

その結果、エネルギー使用量は原油換算で35kl、2.3%の削減となり、2年目の目標を達成することができました、今後も引き続き省エネ活動を進めてまいります。

社内環境活動

●滋賀農園

滋賀工場では昨年より、社内環境活動の一環として、工場敷地内の農園で野菜を育てています。自然の恵みを社員が家庭に持ち帰り家族と食すことで、さらに野菜や果物の収穫イベントでは“取れたて”を直接食べることで、「自然との調和」の大切さを感じることができる活動となりました。



滋賀農園



収穫された野菜



取れたてメロンの試食

●環境講演会

今年も「環境月間」である6月から7月にかけて、外部講師をお招きし「環境講演会」を開催しました。環境に関する講演会に多くの社員が参加することにより、環境問題に対する意識の向上に努めました。

本社:「もっと知りたいゴミ処理の技術」

ゴミ処理のフローや技術をわかりやすく解説頂き、ゴミ処理を行う方々の立場を考えて、ゴミを少しでも処理しやすいように出すことの重要性を学びました。



本社にて

京都工場:「電気自動車等の普及方策」

地球温暖化問題や温暖化のメカニズム、京都府の温室効果ガスや二酸化炭素の排出削減目標とその政策や対策、電気自動車等の普及推進施策をわかりやすく解説頂き、温暖化が日本や社会に及ぼす影響を学びました。



京都工場にて

滋賀工場:「琵琶湖の漁業と環境」

琵琶湖で漁業に携わる方々の生活とその環境の変化、環境問題(外来魚、川鵜、水草の異常繁殖等)の現状についてわかりやすく解説頂き、琵琶湖の自然を次の世代に伝えていくことの重要性を学びました。



滋賀工場にて

●「水のめぐみ館 アクア琵琶」見学

2015年7月、環境委員会で滋賀県大津市の「水のめぐみ館 アクア琵琶」を訪れました。この施設では模型や映像、ゲームを通して琵琶湖の歴史や水環境について学ぶことができます。

明治38年当時の南郷洗堰の様子が実物大で再現されています。当時は人力で操作していたため開門に1日、閉門に2日要していましたが、昭和36年に完成した瀬田川洗堰は電動式になり、開閉時間は約30分になったそうです。また洗堰ができる前には住民の方々が甚大な水害に悩まされていたことも学びました。他にも微生物観察コーナーや、雨体験室など様々な設備を体験しました。この模様は「環境社内報“SKEECO”」で全社員に紹介し、環境意識の高揚を図りました。



南郷洗堰の実物大模型



微生物観察コーナー



雨体験室

●ほりかわ戻り市

当社では、個人で不要となったモノを社員間でリユースしあう、「ほりかわ戻り市」を毎年開催しています。ほりかわ戻り市では、社員が日常で使用しなくなったまだ使えるモノや未使用品を、「もったいない」精神のもと、必要とする社員に無償で譲渡し、限りある資源のリユースを促進しています。また、引き取り手がなかった出品物については、環境保護団体(公益財団法人世界自然保護基金ジャパン、地球環境基金)に寄付しています。

この活動を通じて、社員のモノを大切にする気持ちを再認識させるとともに、少しでも循環型社会の形成に役立てばと考えています。



社会貢献活動

●緑のカーテン

「緑のカーテン」活動は、体感温度の上昇を抑えることでエアコンなどの冷房機器の使用による消費電力の削減と、植物の花や実が成ることにより植物の成長を園児の皆さんに体感してもらい、身近な緑に関心をもってもらうことを主な目的としています。

今年も昨年同様、本社近くの京都市立待賢幼稚園にゴーヤ、スイカ、メロンなどを植え付けさせていただきました。幼稚園の方々や園児の皆さんにもご協力いただき順調に育っていましたが、その後に台風や連日の豪雨に見舞われ、カーテンは被害を被ってしまいました。しかし果実は立派に育ち、園児の皆さんにも喜んでいただけました。今後も、工夫を凝らし活動していきたいと思えます。



園児も大活躍！



立派なきゅうり かわいいスイカも

●エコキャップ運動

地域・社会貢献活動の一環として2009年より「エコキャップ運動」を進めています。

この運動はペットボトルのキャップを外して集め、リサイクル業者に売却し、キャップの再資源化で得た売却益をもって「発展途上国の子どもたちにBCGやポリオワクチンを贈る」ことで「再資源化」「CO₂の削減」だけでなく、「社会貢献」にも寄与することを目的としています。

本社・京都工場・滋賀工場の3拠点へ回収ボックスを設置した結果、2014年10月から2015年9月までに集まったエコキャップは**14860個**でした。これにより**9人分のポリオワクチン**購入が可能となり**117.02kgのCO₂が削減**できました。

今後も引き続き社会貢献の一環として「エコキャップ運動」に取り組んでいきます。



● 第6回本社地域環境活動「堀川周辺地域清掃」

環境保全活動と地域貢献を目的に、今年も堀川周辺清掃活動を実施しました。

活動結果については、収集量54.3kgと過去最大量となりました。過去最大となった背景には2つあると考えています。1つは、環境意識の向上により清掃活動の参加人数が増加したこと、2つ目は、残念ながらゴミ自体が多く投棄されたことだと考えています。

まずゴミのお話をすると、例年通りタバコの吸殻・空缶が多数見られたことに加えて、前日までの雨の影響で、ビニール傘が多く放置されていました。ビニール傘は比較的安価に入手できることから、放置されることが多いようです。

清掃活動により、拾った分だけ確実に街はきれいになります。今後も活動を継続して、環境意識を高めていきたいと思います。



本社前での集合写真



堀川通り東側



堀川通り西側



本社北側ルート

● 第7回京都工場地域環境活動「近鉄大久保駅周辺清掃活動」

京都工場付近の地域環境活動として、今年も近鉄大久保駅周辺の清掃活動を実施しました。

2015年5月、お子さんを含め24人が参加しました。小雨が降る肌寒い日でしたが、これだけの参加があったことに感謝し、活動が根付いていることが実感できました。

大久保駅から、西ルートと南ルートに分かれて清掃しましたが、空缶やペットボトル、タバコの吸殻が多く、一見きれいに見える街も、植え込みや車道側へのポイ捨てゴミで、いっぱいでした。

収集量は、合計17kgでした。昨年より多く残念な気持ちになりましたが、その分街がきれいになったという達成感がありました。通りすがりの方から「ありがとう」のお声もいただき、環境意識を高めるためにも、今後も継続して活動していきます。



大久保駅バスターミナル前での集合写真



大久保駅から西へ



大久保駅から西へ



大久保駅前



大久保駅から南へ



回収したゴミ

環境保全活動

● 太陽光発電システム

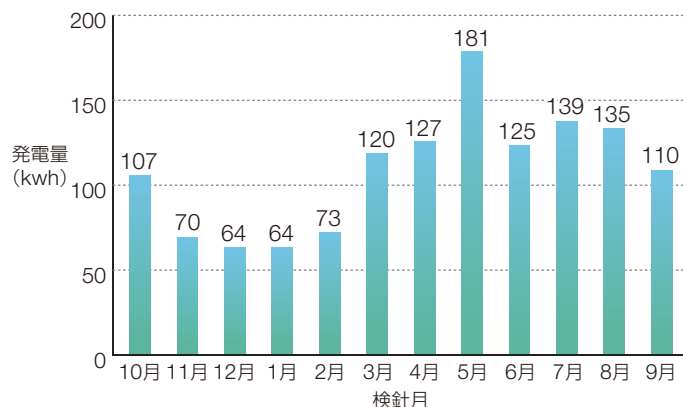
京都工場では、「クリーンエネルギー」である太陽光を利用した太陽光発電システムを導入し、環境保全に貢献しています。今期の発電量は、以下のとおりでした。

今期の積算〈2014年10月～2015年9月〉

検針月	月次積算量(kwh)	総積算量(kwh)
10月	107	13,490
11月	70	13,561
12月	64	13,626
1月	64	13,690
2月	73	13,763
3月	120	13,884
4月	127	14,012
5月	181	14,193
6月	125	14,319
7月	139	14,459
8月	135	14,594
9月	110	14,705
合 計	1,315	14,705

※総積算量については、2005年1月からの積算量

太陽光発電積算量(kwh) ■ 月次積算量(kwh)



今後の取り組み

当社は、社会が求めるより良い品質で環境に優しい製品を提供するとともに、環境負荷低減や環境保全に貢献し、環境理念である「自然との調和」を実現するために以下の取り組みを実践していきます。

①環境マネジメントの実践

具体的な取り組みとして、これまで実践してきた「環境教育」を今後も継続的かつ積極的に実践し、社員の更なる環境意識の向上を図ってまいります。2013年10月からは、「新・環境3ヵ年計画」がスタートし、新たな目標を設定して目的や効果を十分に理解しながら達成に向けて取り組んでまいります。

②社会貢献活動の実践

毎週定期的に行っている本社・京都工場周辺の清掃活動は11年目を迎えました。また、本社近辺での堀川周辺地域清掃や京都工場に訪れるときに利用する近鉄大久保駅周辺の地域清掃、そして滋賀工場では、所属する企業会でのテクノパーク内の清掃活動にも参画しております。全社で行なっている「エコキャップ運動」、「関西盲導犬協会への支援活動」も継続していきます。

地域社会の皆様とコミュニケーションを図りながら、新たな社会貢献活動への参加や、ご要望をいただいている取り組みに積極的にお応えしてまいります。

③環境保全活動の実践

滋賀工場を有する当社では環境保全活動の一環として、新たに滋賀県での実践活動を検討しています。

その一例として、「琵琶湖外来魚駆除の日」に合わせて行われているブラックバス・ブルーギル等の外来魚駆除を行う活動への参加を検討する等により、社内の輪を広げていきたいと考えています。

会社概要

社 名	株式会社 エスケーエレクトロニクス	SK-Electronics CO., LTD.
設 立	2001年10月1日	
本 社 住 所	〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル豊田町436番地の2	
事 業 内 容	大型フォトマスク製造販売	
資 本 金	4,109,722 千円	
従 業 員 数	295名(2015年9月30日現在)	



株式会社 **エスケーエレクトロニクス**
www.sk-el.co.jp

本 社 〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル豊富田町436番地の2
TEL.(075)441-2333(代) FAX.(075)441-4291